の基を樹



馮玉祥も罷免

の學便一教

0) 日

主移譲をなすべき方針が保証して、一般の関係をしてその関係をしてその関係をしてその関係をしてを対象の対象をは対していることは変変をなってをある。としてなるできれるである。というは、できるでは、一般をして、一般をして、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表して、一般を表し、一体表し、一般を表し、一般を表し、一般を表し、一般を表し、一般を表し、一

陸、海兩相對支第二段階決意表明 日二十二 月 介勇忠〇五社

においては午前十時本會觀を開き、勝頭首相より宿觀政府不動の國是に立脚せる一般施政方針演説を行ひ、ついで 外相より最乎たる日本政府の外交方針演説につぎ晩、海南相より對支第二段階に處する軍の斷乎たる決意を表明す

华直

一月廿三日粗品進呈

は北京十一日砂園通一中華民 一大学で展示ない。その東省左の加工 一大学で展示ない。 一大学で表示ない。 一大学で表示

三、後來實施したる關稅 加稅は直為にこれを敬正す が課課することを取止む 個し、災福教演のため稅額 相主民國世七年一月並一日 中華民國世七年一月近一日 中華民國世七年一月近一日

たの発音を通りである。

文編輯、宮庭製版等を詳細調 集まる無電通信の受信状況渊

8 8

前数 数 本 丸 大 大 オ オ

本の計画大氏(代編士)仕二本の計画大氏(代編士)仕二本の計画大氏(代編士)仕二本を連続大氏(同)同一本を連続大氏(同)同一本を連続大氏(同)同一本を通り、同

大きでの他の穀物

(日曜日)

農民に對し厚生の途を計るべれ南浦地方殊に東邊道方面のお南浦地方殊に東邊道方面の

のである

07

屋野總務長官

中華民國臨時政府

關稅改正佈

荒廢地の復

興が目的

【北京十一日愛國通」中華民 大変の如く生活必需品、復興材 左の如く生活必需品、復興材 相別下げを脈行せる關稅の太 相別下げを脈行せる關稅率改 正を愛来した、改正稅率の主 なるもの左の如し へ総 田 稅 の 会 日 稅

七箭手以下

古都本部委員會 首都本部委員會は協和會協和會首都本部舊附屬地各分 育館第三應接堂に於て開催也。 ちれたが讓題は囊に内定せる られたが讓題は囊に内定せる で開催、委員會同樣調停委員 直弦院調停委員推薦の件及は 推薦の件、本年度工作方針の 本部長に記念品贈呈その他に 議會は二十四日開催されるこ 本部長に記念品贈呈その他に 議會は二十四日開催されるこ

派遣してゐるが、私は大藏 身が付いた環様で政府當局 身が付いた環様で政府當局 場が付いた環様で政府當局

民政黨駒井代議士

議會は二十四日開催されることゝなつてゐる

南満より

けき來京す

北支經濟視察の途

高鳴る健児の胸

小學校聯合氷上大會始る

・ 大阪白菊校訓導の指揮に依り 「原八島、植村櫻木、岡本三笠 「原八島、植村櫻木、岡本三笠 ・ は田順天各軍主將の手に依つ

心よあすから出發 健康体操、徒歩は永久に繼續

して一層 一層をの趣旨徹底に努力 一層をの趣旨徹底に努力 の項目を入れ一部を變更 の項目を入れ一部を變更

銀盤の制覇賭けて

愛聯趣旨の徹底期す

楊に人事不省に陷つたが、呼中に姿を順し逃走、急報に接 中に姿を順し逃走、急報に接 した所轄貫城子署では直ちに 行檢證と共に王を指名犯人と して手配目下捜査中である。 入院治療中である。

天を經て北支へと赴くこと

路南下内地原版へと規能した関盟の盛んなる見送の中に一関語各

白衣の勇士 南下凱旋

本年度工作方針の決定

首都本部委員會、

協議會開く

るものであつて左の如く語つ



選より廿二日午前八時新京牌軍白衣の勇士三十六名は哈爾

年齢二十五歳以下、市内に確實なる年齢二十五歳以下、市内に確實なる保證人ある店員採用す保證人ある店員採用す

店員 至 急 募 集 (最)

支店 古林大馬路(3)五四十

中于

雑食や質量り

なからご 商店

希望者は履歴書持長 一、女店員 新京大局

分聖書學校 朝の禮拜・午前十時四十

あす日曜日新京の日の出時刻 市民早起會行事右終つて忠媛 将参拜 日の出を拜する集ひ

州二萬名に達す

移住農民

記教「自他の問題」 一、日曜選科 午前十一時 一、日曜選校 午前十時 メソデスト教會 西本願寺行事

「念法の生活者」應昭哲行師「急法の生活者」應昭哲行師「無碍の生命道」光岡恭昭師 あす(小三日)

能に観心を寄せてる下星野總 清長官は農事変易所配察後二 十二日午前九時牛北安路関通 本社を訪れ、編録局の活鍵な る活動振りに驚暴の限をみは り取材、整理、タイプライテ ップをはじめ日本ならびに流 があるい。 今頃主なる放送

有党老松町普通學後正門前 「一月廿三日(日)午前九時中 日 雅 學 校 所書通學後正門前 《電三ノ六八二二) 日本基督教會

設数「恩寵の宗教」 ・・夕拜・午後七時半 ・・不ウロの祈り一 ・ 石川 牧師

富國徵兵保險相互會社 京老級門人 (教體出人) 雕信到川風人

宿士町一丁目一番地 富士町一丁目一番地 1

十八歲位 Ę 引 本橋通一戶 総宅向敷管・ルニ階 家食二十五個より四十回

商店向

外務社員数名(商會午前中)
・ 年齢二十五歳以上の男女
・ 年齢二十五歳以上の男女
・ 年齢二十五歳以上の男女 社員招聘機響於 会社 文祥堂新京文店 株式 文祥堂新京文店 株式 文祥堂新京文店 (前倉中館中) 犬

が五金光教育館 ある 本

賣價一頭二十五圓也 スピーツ 白愛玩犬 生後五

員招

弊店每々御厚情と御引立を蒙り有難 く奉深謝候 に記兩君を外交員ごして招聘致し候 方記兩君を外交員ごして招聘致し候 所奉懇願候 先は御通知旁々右得貴意候

在復七ヶ月に国る歐米旅行を終へ昨二十日無審論作致して深く感仰致しました就ては早速一々拜禮御校提申上と、市年出發の蟯並に今度廣宿に當りまして多數各人一つには御姓名御信ひが充分出來ませなるだので甚だく一つには御姓名御信ひが充分出來ませなるだので甚だく一つには御姓名御信ひが充分出來ませなるだので甚だく一つには御姓名側のが充分出來ませなるだので甚だく一つには一月二十一日 原為ます。信時節柄御自愛專一に御二り申上げます。

新京中學校長 矢澤邦彦



滿鐵社員會が

等に任す(一月二十二日) 新京櫻木琴常高等小學校訓 新京櫻木琴常高等小學校訓 滿鐵辭分

―時局講演會で合唱する―

愛國行進曲、練習

回練習音を催した、馬る者各 分會代表約百名にて中山義雄 件奏にて約一時間練習を行ひ 散會したが分會代表は更に各 分會員に指導し二十四日午後 映書會に出場大合唱を行ふ客

名書「其夜の眞心」「サラトガ」を凌ぐ本格的競馬映書! 明日曜は迷れず此の二 連日の御聲接を感謝致します 阅讓二 と約 爛の 大繪

の如く決定設表する 関り借す新スタア男 関の代ストテ

第一線に置り出す新スタア用

新興東京の

内鮮滿を舞台こする

朝鮮映畵作成 松竹が援助し近く

> 支進出 レコード

の北

専門の當店

御用命下

10

E

確

て明

井 小

鉢 \$ 0 及 立醫院眼科指定

得度質で討麻化す

にな

先陣はポリド

接することもなり、近く本格松竹ブロックのスタボオも應

も、それく、北文造出を計量 めされてゐる折樗、文化運動 めされてゐる折樗、文化運動 の一翼を受持つレコード界で

新興大谷日出夫の本年度第一 一回作品は難誌ペング所献、 岡 が寺健作「韓油仁蔵」の映畵 と次定、日下和田淵が鋭意 シナリオ中である、之は映畵 シナリオ中である、之は映畵 を「寛政水詩傳」と改め主 久監督により「王谷村六切」

自負心を生ず

第ルクタクやス起 の見た米図

大学的に撮影に着手すること、なった。日、群、満人が東洋平のために苦闘する表を劇的であり、関連に完成封切る運びで、本邦封切は先づ8Yでで、本邦封切は先づ8Yでで、本邦封切は先づ8Yで

お

**大石

茶

體 話 ②

0

六三

日本候請最高の榮譽を擔ふ超弩級巨豪

戰國大繪卷!!

衣笠貞之助 監教

「寬政水滸傳」

●二黒の人 跡から跡からと 範ヶ舞と内が吉

予告は親に入つた(赤髪)

士の

N

社交

●一白の人 刻々に勢ひ付む て來る日入廛名弘祭尤ら吉 異と北と壬が吉 基 織 先 乙 日 宿 負 卵 曜 日二十月二十二 田 三 廿 月 一 遠慮なく批判 E

して下さ

電話に二二

CO ATT

ンテゴシッ

ブ

欄

○ 夕 刊

「新らしいサービスを教へて

一をる。我々會社員は自宅へ

をる。我々會社員は自宅へ

ので見る。そこで モンテ

が思ひ切つて年後四時から

七時頃迄夕刊をお客に一部

宛進星したら乾度受けるだ

の方と思ふ。 (TS生)

> ンテの電話 〇電

> > (心配生)

話

ボの垂れる標な大年均美人 教育組の勝美さんは、いつ も僕のテーブルでのろけて も 〇女給

頭の良い藤澤 〇サン に銘仙

行させ給へ

ても話中 本場ふぐち さしみ付

新京吉堡町二十回(東明前)

全店防

二圓五十錢

よ(黒眼鏡)

割烹

.,===

M4555

◇靜岡紅茶 (一傍)

◇結酒大和牡丹(一升瓶詰)

◇お茶漬用昆布大瓶

◆森永虎印練乳(三九○瓦)

階1

お好み料理

御宴會は特

絶頭女はなぜ怖い大部事後ニュース

製作日 製作費

松竹・京都・大船が無い脚ので形を網雑せる未會を竹・京都・大船が無い脚ので形を網雑せる未會を要野秀夫外



洋難貨、綿紗、御召、絹モス、木綿、帶地、半ゑり等の手持品、冬物一綿の爲大康賣入奉仕 育の 一日より」元の値へ

日滿百 图 3-3161

二十三日より ◆常設特賣場 **營業時間** 第午後七時 品豫約賣出し 洋服簞笥格安 到 開 経 語 店 内 擴 張 商 品 充 日まで

防寒コー 巴製紳士服, ◇コート練御賢上毎に 引力 【二階】 ○鈴茶櫃 尺丸

ンピ 200 (三階) 【二階】





京城府新堂町二

E

立賜る樣御挨拶旁々御廟申上度此の段及隨告候也 務所擴張の爲め左記へ新築移轉仕り候間何卒倍舊の御引

新 築移 轉 謹

謹啓陳者弊所儀以御際業務繁盛に赴き候事偏に皆樣方御 告

愛願の賜に他ならず難有御禮申上候 就而今般工場及事 ◇陶器器き線摘び(六種)一組 ○讀き燒台網子付(二五丸見切品) 八處 1、四〇 11 00 一、五〇 三、五〇 元〇 元 图1 版本局②長四七七八番 大阪府立貿易館新京分館主催 大阪工藝品展覽會 二十六日迄 於七階

この英斷は賣出期間中に限り

できたて、行ってゐてします。 が うに命じて、行ってゐてします。 が うに命じて、自動車をおり、 をの酸に、微硬の色が起った。 をの酸に、微硬の色が起った。 をの酸まで、いつしまに では、わたし間があるの。 では、わたし間があるの。 では、おい?」

がらい

鋭い限で選手を職家し

『はあ、失意ですけれざ、ふと歌鏡なのですかーー』

和資金塊 太陽一路水片000 和資金塊 太陽一路水片000 和資金塊 三五弗〇〇〇 無資銀塊 二〇片三分三 無資銀塊 五〇割比八分三 無資銀塊 四四伯州分三 無質銀塊 四四伯州分三 大子1ル株 五八部八分三

盟

(四)

雄基、清津は特殊貨物を集散

2、市場在貨、主要集飲地 別在貨數量

電話で開催され、自社会の を定であり、目下建設中の設 変に着手すること、 なつたので、直ちに数量を担け なつたので、直ちに数量を担け なつたので、直ちに数量を担け なつたので、直ちに数量を担け なつたので、直ちに数量を担け なつてあるが設富つて日海 を通のローライトを重出す なつてあるが設富つて日海 を記載した。 なつてあるが設富つて日海 であり、目下建設中の設 を記載した。 を記載した。 なつてあるが設富つて日海 であり なってるるが設富つて日海 であり なってるるが設富つて日海 であり なってるるが設富つて日海 であり なってるるが設富って日海 であり を記載した。 なったのであり なった。 なったのであり なったのであり なったのであり なったのであり なったのであり なったのであり なったのであるが設富って日海 である。

★大阪綿

各地商品市况

『まありましたが……』 がま、父の含むへはいつて のく後姿をみた瞬見のここを がま、四十五分だわ、村間

なんです

から

肥者の眼(九)

10回)

青:

春光

0)

宿

主業 映

柴谷寧

二部

須

鐘一

十五分ほざのうちに、こ

を待つてゐたいの

22 tom

の名をよんて

変配の 全年 -

島

したさき

き、野なかい

三三郎、白動車を

いて、前の方ーー玄 中つてわたが らはな

時にお目にからる物味をした でお目にかりつたやうに思つ うでしたねえ

があなたは速水さんでしたわ さ、響をかけ 公本の方へあみ

記者に関係のあること…… の記者に関係のあること…… あみつかせて、 電子が形 さ、調治よりさきに、精子 たつてゐたのだ。此の しの語も、そ おいいきだか 证作

四路大安興京新 2電

祖岡を護る者

で、終島和、僕は

謎をしたいので

『わかつてゐるわ』 さ、願子は觀治が、常感ぎ うな色をうかべたのをめざさ く見でさつていつた。 「あんた、こゝの記者に、十 『あんた、こゝの記者に、十

北でまってるようか」 ですか、さうして下さい。 な平は、もう一度、ちろり であり、さうして下さい。

日来ないわ。わたしに

もかもわかつてゐる

んのお時にすんであること

あのひき、干糖子

10000 B

四五階がきだ



= 1 空中 1.27 7.3 劇場 9.00 12.00 2.54 5.57 二十五日まで日曜は十時四十分より人生競馬上映

猿飛佐助羅 廿九日封切 ソロモン

2.25 5.00 2.47 5.22 小笠原白狐傳 3.57 6.33 二人は若い 五十錢 料金 廿二日より廿五日まで

廿九日封切 嫁勢 馬

豐楽劇場

吉野屋樂器店 琴三味線

春

片 関 千 惠 徽 近日封切 法者銀平

1.1 4.29 7.4

2.59 5.56

11.4' S. 05 6.15 10.56

朝 感愛べからず農本 2.38 4.11 8.4 O 12.5: 4.26 7.4 自雷也小僧 前篇 座 1.16 2.85

12.00 2.45 5.36 8.15 震 ろ鳥族 12.53 3.58 6.28 10.16

2.00 4.45 2.00 8.05 8+30 10+30 2.4 大阪夏の四

の様 千 洋酒の店 ・抜ちゃん 2 T 髪か 3 ンマ E 1 ž: A

フランスアバ 物用の方は一般話

店舗一戶(事務所向) 銭と廿三箇外に飲事場瓦斯の設備あり設備。電気水道蝦房入浴料共、二十一開発十 れ、椅子備付 十五室 (三疊敷位) 駿台、 一大船町一丁目十六番地昌榮

振替口座新京

.

CROO 13 #-000(F ○・七五〇代。 0.五八二 I-IHC 〇・九〇〇 0.40() 1.400 0.100 四・五〇〇三階 00100 一一田〇〇回 本盾七時の一人のの一人

映画 御案内 学本チェーン 第八回

近代工業櫛比する

奉天鐵西地區 な表現

200 日本海野県 (1) 日本海野県 (1) 日本

た東和新聞の建物を大東和新聞の建物を

なければならないとさがあり

思ひますが、その際におかし下さるわけ

し下さるわけ

分

『それは、さし支わりません

世世

图 第 图 4

治が、徒歩で、向ふの明然に 時に でくるさばかり思つてゐた課 『焼

銀座

新京主李

7.57 9.07 10.07

坚

大金剛山の譜 京キネマ

忘淑

日公開

貨

室貨築新

解 雇 滋廣

告

番茶器セツ 徳用チリ紙

11-00()種)

感を信ひたい。 を信がない、 を信がい、 を信がい、 を信がい、 を行うのようができたができたが、 を行うない、 を行うのようができたができたが、 を行うのようができたができたが、 を行うのようができたができたが、 を行うのようができたができたが、 を行うのようができたができたが、 を行うのようができたができたが、 を行うなが、 を行うのようができたができたが、 を行うなが、 を行うなができたができたができたが、 を行うなが、 を行るなが、 を行るなが、 を行うなが、 を行うなが、 を行るなが、 をで

に年度を表示の (本の) (東京國道) 来議院における質量大職大臣の (東京國道) 来議院におけて (東京國道) 来議院における (東京國道) 来議院における (東京國道) 来議院における (東京國道) 来議院における (東京國道) 東京國道 (東京國道) 来議院における (東京國道) 来議院 (東京國道) 来議院における (東京國道) またました。 (東京國道) (東

十時学藝命、松不識長着層、一使の姿を見かけ、紫嫣らの表族院本會識は廿二日午前 には貴賓席にタレーギーの表族院本會議は廿二日午前 には貴賓席にタレーギー

要を置らればなられ ないなものがあった ないならのがあった

平交渉絕對行はず

君質疑に首相重大言明

日目開會

の政どが確た味園防飯とる、 研解を、立新に委共しば 発にすそさ襲秀副親幾霧図

411 【頁二十刊夕朝紙本】

吉川商會 州甲板

富太

に鑑な遺憾の遺を表してある。首相に於ても恐らく耳にしてあることであらう。時局は極めて重大なるものであるから総理大臣として等處せから総理大臣として等處せかられるととが必要ではないかられるととが必要ではない

土木講習會

然退場を命じる、仙人悪口を 他人野次を入れるので護長慎 の職機の田淵

各省官民の三百名に近い受職 者といふ豫則以上の旅況で十 九旦より點念公會堂に開かれたが、第四日廿二日午後三十分好成績を以て鸛智終了 表了觀書投與式の後記念宣傳 が上日は實地見學の後記念宣傳 十三日は實地見學の後記念宣傳 十三日は實地見學の獨全員午 前八時四十分新京驛滑吉林へ 向ひ大同洋灰工場及第二松花 工作後四時三十分吉於驛前に て午後四時三十分吉於驛前に て午後四時三十分吉於驛前に 工解散することとなってるる 川 越大 使 廿八日 「本京國通」川越大使は廣田 別品ハット会に書き廿八日上海 九にて上海湾、卅一日東京葡

おいて萬難を排して自憲延せしめるが如きことする適切有效なる指となりはせぬからは出動の本義にの結果となりはせぬからは出めるが如きことする適切有效なる指

院の大が弱いた。 について論じ について論じ

いで増税計畫の時期

小さいのである 小さいのである 小さいのではなく腹が

常局の態度が始息因循である

大木中佐着任 は廿一日常任した四軍時新機關長大木良校中可島廿二日澄國通)新任書

井中將逝去

將來必要あれば

現在の財政當局に對し時局一

君堤相首

(東京國語) 参謀本部附建軍 中勝今井清氏は、かねて脳臓 がのところ、伊二日午前十一 中のところ、伊二日午前十一 中のところ、伊二日午前十一 なほ郡儀は廿五日教行さ

布告もする

◆九里正滅氏(總局旅客課長) 中二日來京ヤマトホテル 東谷幸吉氏(南洲鹽草)同 本野村虎雄氏(原城帝太教授) 同同陽ホテル 「同同陽ホテル 「同同陽ホテル 「同同陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル 「同高陽ホテル

【東京國通】杉山、米内南軍 ・本倉護において今次事變に對 ・する陸海軍の活動就況に關し て報告を試みた後、今後の局 面に對応する軍の決意を左の、

元學務局參與 変事務局登奥を命ず 北 夫

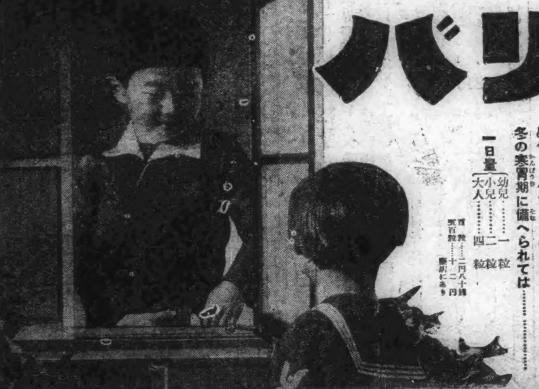
を承つて同十五分二荒芳 を承つて同十五分二荒芳 を承つて同十五分二荒芳

永く 絶きずに たざ、これまでの 量が多いため兒童が極度に服用を嫌っ たものですが、一粒肝油、川油は、生臭くて になる。 では、臭くなく、お腹に障らず、どん な兒童でも喜んで服用致します。 永く絶きずに 胃や、肺炎などの脅威、 なんなり、 腺疾病 秋から冬にかけて、 お子だちが、 ぬやう、ぜひハ

を引かぬやう、病気を動成が襲つて来ます。

バを與へて、

來るべき



皮膚や粘膜の 何人にも極度に嫁がられたものです。ととを要します。しかるに、肝油と言ふとあ

を、數週も、数ケ月も永く飽きずに連用する。下油は一時的に多量を與へるよりも一定の量 や病菌に侵されぬやう、自衛作用を強自衛力を强める 皮膚や粘膜が病蟲 ヴィタミンADは

でをることは誰も知るところです。 や病菌に侵されぬやう、自衛作用を強いない。 頭皮な骨組を作るに、ぜひ必要な状がで、肝油の中に豊富に含まれ

ヴィタミンADの飲乏に原因します

た。 を來し、時々微熱が出たり、視力や を來し、時々微熱が出たり、視力や を來し、時々微熱が出たり、視力や を来し、時々微熱が出たり、視力や ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 はいまする。 はいまる。 はい。 はいまる。 はいま。 はいま。 はいまる。 はいまる。 は、 は、 は、 は、

かぜ引かぬやら **柄氣せぬやう**

が占領地域を

を選べ最後に を完成である 全常園の伸介に立つ様な と暗園の伸介に立つ様な と暗園の伸介に立つ様な と音園の伸介に立つ様な と答べ、外相さらに北支開設 を指してある。 と答べ、外相さらに北支開設 を答べ、外相さらに北支開設 が上述したする を答べ、外相さらに北支開設 のであることは全世界が が発覚である と答べ、外相さらに北支開設 の形数質は投資の氾濫を防 であるが、需要の種類に つてるるが、需要の種類に つてるるが、需要の種類に

一俊雄 君登壇

(日 曜 日)

藏相演

田君新政權問題追及

ごう處置するか 首と た機相質のをの駐、し政、考斷るにめい、ふ新観か合政 のの しで短決さ内で胸暢へ乎る逮索も日こ数り、流権 は合一五に抑養せ取るは價はとと器三こ本と機全勝をむ

は平等に合體する意味で、北支新政権に審政 時半降煙 化することが出來るの考へはないか、この考へはないか、これを認抗職を支那大陸に移

邁進

殿の運用期に入つた

満洲國の新ス

B

to

覗く

I

たの道の翻蔵者たちが勧める。 おれず戸外に出よといふことが 指けられてるる。戸外には活法には、第一の 満洲に於ける保健生活法には、第一の 満洲の室内空氣は して、多季衛生のためには清 したできず頭がひろく一般に したできず頭がひろく一般に したできず頭がひろく一般に したできず頭がひろく一般に したできず頭がひろく一般に したできず頭がひろく一般に したがも を変し、そしてそれが日常生 のである。われ

粉局長官

思下い数協でのじ最多が今族でそ政年り通を下新も附し地盟しる。 つにかの和る港で後加、日のあの運中み、以各を財異く方式で て大・港なり展あにへ本取行る等用更て関で般ら政セ盟登長人 るい協歩い、にる何た年發政、體とにこ防衛のれ的ら充も化長人 るに和談し民はおれいはは変数なを地絶れ及と情たにれて を任めれなる。

楊上海市民協會

の 本の方針を到らかにした 本の方針を到らかにした。 を使の独質を大の如く述べて を使の独質を大の如く述べて をでの方針を到らかにした。 を使の独質を大の如く述べて をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。 をでの方針を到らかにした。

(日 曜 日)

をして居ることからの智然の概葉からして大都會式の生活をその程濟生活の程度なり又

にシャトル廿一日愛國頭 日 村の問題の時計仕掛の爆選は サー日午後に至り前く愛見さ れた、愛見の場所は日枝丸か がた、愛見の場所は日枝丸か

暦の 下で鐵道の枕木に結びつけた 県は 取調の結果スーッケースを戻見、 県は 取調の結果スーッケースの中 果、にはダイナマイト三百六十九 見さ 本とヒューズ廿一本、それに 供表 ないの時計仕掛が仕組まれてる

外週間 說

H

關稅の是正

新京に於いては本日より向ふ一週間、愛國運動首都帰盟の主催により戸外週間の催しが行はれる。これは寒冷損も概しい今に時節に於いて、人々の注意を戸外運動の重要なことに向けしめるのに最もぶっと同じしい催しであると言へやさばしい催しであると言へや 北支貿易飛躍期待

して充分な效果をあげてゐるについて留意して來たには遠 れぞれにその健康といふことしたけるわれくの生活をかったがへつて、満洲に続けるわれくの生活をかった。これまで各人を は別かであつて、近き將來北 支經濟が恢復したる院には從 來わが對全支輸出貿易の平ば 本も達しなかった北支向輸出 認に從來の全支向輸出總領 に匹敵する躍進を示すに至る

ロックを一展強化したもので 日本北支經濟プ

あるとなしてゐる

いて公、私の保健衛

支那空軍参加の 人飛行士戰死傷者

は十二月中に全部引揚げ、米受けてゐる、イタリー飛行士でけてゐる、イタリー飛行士 支那海軍の

【杭州廿一日設國通】藤山部 除の主力討伐総は廿日早朝杭 州を出設杭州―富陽間の山岳 地帶に幡居羅動する敵に對し で徹底的掃落戦を閉始し廿一 で徹底的掃落戦を閉始し廿一 日朝までにはすでに各高地を ら頃、包閣磁勢をとりつゝ降 望を働いて前半

場北國通」島内華僑等は各地に新政権慶祝大會を開いてあるがこれ等を統合して統一個體、豪灣華僑公會を結成して所信に適進することとなり二月五日臺北公會堂に北支政権系認の全島大會を開くことなった、高各支那總領事は引揚に属し南京政府の命令大東引揚げる旨外事課長に意思を表示した。

日本貿易業者好感 関人は本國政府からの抗議を関人は本國政府からの抗議を 富陽間の

助ならしめ同時に經濟カーの恢復と相俟つて今回の一門

敵を包圍壓迫中 自治委員會組織 東干山に自治委員會が和織された曾で國民政府要人の往來 で有名な同山には一般支那居 住者の外に外人二家族十二名 が居住してをり齊いく皇軍の が居住してをり齊いく皇軍の

瀬州國慰問金品

困窮に同情の戦闘

四 て慰問金二千三百四十遍外慰 い数に及んだので舊正月に間

昨日第

回分を發送

新政権慶祝大會

車時刻改正 梅輯線

0

□ 百半を割き同中央委員口つたが十九日のブラブメエ作の誤認につき 薫大決議

東邊道開發に

洋

品

2.0

3

Ξŧ 三三

日枝丸爆破未遂の

爆薬ケ

背後に支那人の魔手動

入時五〇分

第二一四次

展覧に拍車 人民委員部で調べた所根據海百件に上つてゐる。然るにこ

即刻復黨せしめよ

「、不合理に除名された者は

即刻復黨せしめよ

【京城國通】 三萬四千百餘名 支那事變勃旋以

四時五五分分

吉同梅河口 稀 普發着

九四四 時時時 二三三

第五四五列

四川省政府主席
「上海廿二日發属通〕廿日病
後した劉湘の後任には国防曹
の以上、劉湘の後任には国防曹

上つたが、北支新政権の誕生者は三萬三千二百八十八名に来鮮内在留支邓人の本國引揚 飲滋 料養

鏡~双眼鏡 專門店清眼 I 吕 ***=** 九二

誤謬清算の除名 中委全國に命 ALMA

優秀機である 研所正に近代日本精密工 薫異的指影機アルマは非 の推獨逸シー 撮影機プ

工業の成力を遺憾なく發揮せ非常時國産愛用の喧傳せらる リング解快帰靱にして一捲全窓の撮影がルムの多男 マ!

お書に成功した際は 莫士

られることになつての間に密約が成立しの間に密約が成立しい間に密約が成立し

士江警備司隊令官マクワート 宋國海軍省は二十一日米國想

司令官更迭

た特別資祭録は廿日 時散と共に去る十五日 高祭殿は廿日の任務

新京取引市况

5 五イ













我國民より

江陰砲臺、は河の方から見ると大規模なもので山頂や新無氣味に整へ、江陰に支那が無氣味に整へ、江陰に支那

3)5689

二五二六九二九二八二世

文

回後

0

取

扱

は

電話(三)五六三〇

H

神宮體育大會

氷上競技日程

神宮體育大會多季競技の内水三十分から開催る第九回順沿三十分から開催る第九回順沿三時間の内が

鎭

正午頃すれ違ひ「やあ」と呼る、
常旦と確を出たまる行権
不明となってるた同社の船に

蒙疆地區に於ける

作年率天市公署と大倉組との 西萬國)では第一期事業とし 西萬國)では第一期事業とし 西建築費十五萬國を計上、大 和區五緯路千二百坪の敷地に 建築面積七百坪二階建今計百

阿容强化

徳島縣人會の

電々特派員の活躍

新京總島縣人會では去る十五 日午後五時から奉季總會を開 十分に互本鴻東軍司令部上田 十分に互本鴻東軍司令部上田 所 日本後五時から奉季總會を開

家庭に保險は大きくて

て確實な

國軍に慰問品

書館再興の為

軍將士に傳達すべく慰問品として保健増進を までに盟邦國民より國軍の将兵に始られた慰っ の赤 国軍の 野兵に始られた慰

線の商業學

り、特別の ・ の多きで ・ ため間 ・ ため間 ・ ため間 ・ ため間 ・ ため間

の商業単校とのから、現場では、 の商業単校とのから、 の商業単校とのから、 のの商業単校とのから、 のの商業単校とのから、 のの商業単校とのから、 のの商業単校とのから、 のののでは、 ののでは、 のでは、 のでは、

無満間は上りで一種夜しかか 無満間は上りで一種夜しかか 無満間は上りで一種夜しかか

なくまた 耐岸の 敗残兵の 狙撃なくまた 耐岸の 敗残兵の 狙撃ない ませんでした とと といったの で 退居をしませんでした と

其の事情を異にし毫も政治の地なるを以つて他の都思州の要衡に當り所謂四通れ

戦連消えやらぬ長江溯江

闘員を乘せて

新京商業學校 現在までの知育の

はして校友會圖書は総数二千六百勝られ生徒の閲覧に供せり

らざるを遺憾とす。現今に 蒐集にかる標本多数に上此の方面に力を注がれ、同 初代校長森川勉氏は

災闘せるため年々光質しつム 変はポスターレッテル 蒐集を 或はポスターレッテル 蒐集を が品識別力を養成する等の見 がは、の商品に對する協品は本蒐集 が、の商品に對する協品は本蒐集 部に設けられ 室 始め商品室に併置せるたるも昭和七年獨立した。 定置に努力し現今にては に至る蘇洲専變後大に で開書室の項参照)の書 の書

北滿孫

民訓練

り其の他寄贈或は購入の森川文庫あり大約四百余

務員の監

北京ないもので 大月京城附近で 大月京城附近で 大月京城附近で 大学を一日 大学を一日

牡丹江市路議員

古角

電話呼出三一三二九六

H.

町三丁目七

線に活躍する特派負は二百三十名に達し、中には張家口電 お十二名の女子交換手も交つ て可憐な健闘に皇軍始め濃蹙 で可憐な健闘に皇軍始め濃蹙 れてをり、従来北浦の一寒村として顧みられたかつた孫臭として顧みられたかつた孫臭として顧みられたかつた孫臭として顧みられたかつた孫臭 れるに至つた たほ右移民計 炭及び製粉、

青少年移 民團

民衆を感激さしてゐる 民衆を感激さしてゐる 大同、緩遠、包頭の四電燈檢 大同、緩遠、包頭の四電燈檢 大同、緩遠、包頭の四電燈檢 大同、緩遠、包頭の四電燈檢 大同、緩遠、包頭の四電燈檢 史と共にこれ等の電々する日も近いだらうがれ特派員諸君が晴れの 1二千名入植火定 現下に非常時局下の國防上及 現下に非常時局下の國防上及 で減洲國の勝栗の見地より決 定を見たが、昭和十三年度に おける東滿地方の入種は大體 たの如く決定し、これが先遣 除として二十名の指導員は本 に入種することとなった、す なはち十五歳より十八歳まで の青少年三千名を本年中に入 を申心 が耕作の襲定 に各方面の意向を暗るので協和の 對北海道水上

大體本品中には入選

スピー

頭試閲を行つた上採用を決定

奉天の協

和地產會

社が建設

長春 京神社 院長 電(3) 德 六二四 ノスグ前 器

四一番 院



D

Ħ 大

思

隈小

松

雄

惣

兵



特許商標出願審例

原

新京 事 等 等 等 所

日本辯護士協會選事

奉天事務所

萨军大臣 指定





倉庫及金融

目課業營 搜術正 ●籤業法ニ 石石山 整分調測 定拆瓷量依 C A

一般測量及製圖 滿洲 礦業 社 土方龜次郎

占 -様の家庭衛 F×3 生相 談所

名古屋本 電話③六九六二番

荷遣及作內運搬 管 業 御 案 內 T) 了。話 (m) 專 B (1) (1) (1) (1) 引越荷物 人夫供給 牧場

度効 的確 剧作用 絕無 **教育**元 光動加線通七 藤澤女吉商店 前觀然元 植 村 製 菜 所 製 菜 所 モルヒネ ヘロイン

在奉同文書院卒業生が

一学報報を中心 関連動は、 関連動は、 関連動は、 けられたので同画書館では来 半月足らずの短時日に約一千 かに達する貴重な書籍が全満 が出より級々率天興書館に居

耐院に対て透附するとと源交通大學跡に復居と源交通大學跡に復居

北方、東公司 上文章道の連絡機圖として設立された減鐵率北汽車公司は立された減鐵率北汽車公司は立された減鐵率北汽車公司は立された減鐵率北汽車公司は立された減鐵率北汽車公司は一般貨客輻輳をなすこととなり日本人の選挙を能務、經理、營築等事の者を能務、經理、營築等事の者を能務、經理、營築等事の者を能務、經理、營築等事の者を能務、經理、營築等事の者を能務、經理、營業等事の者を能務、經理、營業等事の者を指示。

本キッケー及びフィギュアー (芝浦) 第一日 一月廿六日正午— 男スクトル、女スタール、 年後、時一アイスホッケー 雅選 第二日 一月廿七日(芝浦) 午後7時卅分一男フリー、 女フリー午後十時一ホッケー

一日 一日廿九日午館九 川分、男五百米、女五百 川分、男五百米、女五百 一日 一日廿九日午館九 一日 冊日午前九時、男 二日 冊日午前九時、男

九一台七號

迎送及火災保

產科、婦人科增設 非 艷

新京×イヤ街老松町一大個百通九木 見 科院長 肥後 弘子

|隨入||時|院

正規製圖並出願手

イ、知らせ、活〇ラデオ 関・入権船の対 を入権船の対 を入地が対

西村同念

9

(口定)

M用分平 .20 3日分平 .50 7日分平 1.00 15日分平 2.00 23日分平 3.00 10日分平 5.00 15日分平 10.00

本切

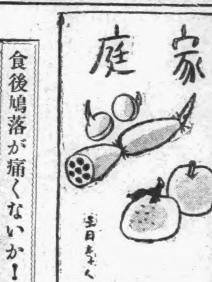
幸島に「映下足迹」 切に「医療療士・ 村家」 表象体類 育功 資惠公寓。 順 無罪子と用め 天島となっても 後者際「配ひ

0

番

無線

の國がわ



気を切り、豆腐は布巾に 類らヘカ=鮭をほぐし がらヘカ=鮭をほぐし が、胡麻油、醤油 で、胡麻油、醤油

競、養油、胡椒、好々! で摺り、生姜と葱の微層で摺り、生姜と葱の微層

炒前麻を摺 都麻は

、生姜と葱の微塵切り

お台所に

食後鳩落が痛くな 47

一變多い胃潰瘍 不規則の過勞の原因

事の組織が段々と悪化して揺ったいやうであるが、この二つは全然別た病氣である、然し間潰瘍を長平月の間たび/ 食後一定の時間をおいて鳩落ちのところが痛むことはありませんか、食後といつて ー一時間半位ですか、これについて川島博士のお話を伺ひました ときに胃痛や、それに似た苦痛を訴へる人をまゝ見らけます。 不足に陷り易いものです、それに昨今は暴飲暴食のお正

り得る。

次に暴飲暴食はもちろんの こと、強いアルコール、炭酸 料の持續、甘味の過用は胃液 料の持續、甘味の過用は胃液

|文||の中に長い文||の中に長い

ラデオ、編物、いかり 夜分にも十分の餘暇を持つて

で軍要なる一事と

程度を

女こしての西洋婦人はゼ

力尊女卑は改めたい

宫

金七

美人教習所出現 のださらです、教 のださらです、教 のださらです、教 のださらです、教 のださらです、教 育所が出來まし

ある、又前述のやうな胃液分の腱膜と心身の体囊、規則的 日常生活の酸守が一番大切で 十分に節し、消化し易品を避け、殊に 酒、 例へばバン

戦に鑑みて痛感す

今度の空中の空中の空中

に有效に使用する。 西洋は

防

百

圓の

海外ニュスー 海外ニュスー 海外ニュスー 東京競)内閣情報部提定「 愛國行進曲の作曲に一等當選 した前海軍々樂隊長瀬戸口藤 古務の海を兼ねた親賀會を廿 「木)午後六時から芝公園

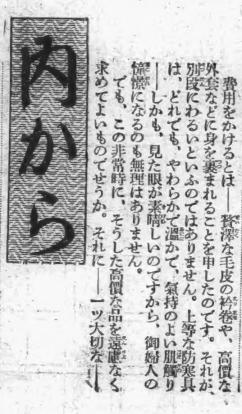
無いまでに腰掛けて編物、靴下の結び等に除念のない婦人 の群を見るのが普通である、 是れがためには彼等の住宅は 便利なことには歯健式のこと だ、鍵は家内中銘々所持して 他人の事を考慮せずとも外出

だるが

勿に改造も出来な か起きる、建築に か起きる、建築に がとよが

の思ひをさせら

7丁洋森 Etneemann



防寒は世 から

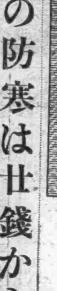
電話(G)二一(

0 目

四番 三



どんな上等な防寒具を召しても、それの核心となる 下さんな上等な防寒具を召しても、それの核心となる が一一指が一一指が一一健康色に張ぎつてあるなら 額が一手が一一指が一一健康色に張ぎつてあるなら 類に自粉氣もなく、手に手袋もないほうが、見た眼も それには、どなたも、彼の有名な婦人樂「中特場」 を召し上られたいのであります。中特場をのむと、身 を召し上られたいのであります。中特場をのむと、身 を召し上られたいのであります。中特場をのむと、身 どんな寒さにも打克つ體力がつくられます。 でんな寒さにも打克つ體力がつくられます。 とんな寒さにも打克つ體力がつくられます。 でんなによい保温作用を管なむか、ぜひお試しあれ。 とんなによい保温作用を管なむか、ぜひお試しあれ。



識 ● 皮膚科・性病科・性病科 眼 第二十六六四六番 京大和道六 電の三四十二番 ント











今までの樂界の姿はどうであつたかと云べば、明既に音あつたかと云べば、明既に音を別りられてるて、そのために中間層は無く、相互に何のに中間層は無く、相互に何のに中間層は無く、相互に何のに中間層は無く、相互に何のに中間層は無く、相互に何のにかった。そして普樂知識階である日本の音樂を表演し遊戲的か存在として進み、又、一般大樂はそして進み、又、一般大樂は

で 壁して行く有様であつた。その時に属民特神生活の認識のであるが、音樂の方面に於て「母本的であるが、音樂の方面に於て「母本的のはか」を有様である。ためにないわけである。関民音樂を建設すべき何物もないわけである。関民音樂をしたがには當然園民生活が上来にならなければならないので

生たもので、果して面豆のたが、それが約一ヶ月の後を一には老若男女を間はず、歯には老若男女を間はず、歯にはと若男女を間はず、歯になる方線のでしたが、それが約一ヶ月の後を一たしに歌ひのけてゐる有線ので、そして堂々と大きない。

證婦合

・ 今までの日本の類界は資本 主義末期の現象として、無意 無種にスター・シズテムが探 所されてゐた。百人の音樂大 別案を獲得するよりも一人の名 手を得ることに熟心だつた。 各工場に職場にある人々の合 いまなである人々の合

展の為め

に一下

れ得ないことである。そして には関民大衆の音樂を生み出すため 言になることが必要だ。良き るが必要であると同じことであ のの。

入

くの観民大衆が歌の歌へるやうになれた方が良いのであるともりも、関民全般の経済力のよりも、関民全般の経済力のなめには百の難論よりも一つの實行である。音樂の持つといへる。音樂の持つ樂しさを語るより、大衆に音樂の持つ樂しさを語るとである。音樂は何よりも實践させるのが一番である。音樂的なるものが浸潤して行くのである。

る 民大衆はか」る。現大衆はか」る。民大衆はか」る。 の所有者でないことは今度の 事要に於ても良く現はされた ことである。例へば、出征を こ 自然的なことではあるが、そ よ 自然の意を抱いてるたことは極めて、果して国民大衆に は ないよん は しま は ないよん と は ないと は ないよん と は ないまん と は ないよん と は ないよん と は ないない と は ないよん と は ないまん と は ないよん と は ないと ないまん ないよん と は ないまん ないまん と は ないまん と ないまん と は ないまん と ないまん と ないまん と ないまん と は ないまん と ないまん と は ないまん と ないまん と は ないまん と ないまん と

なことを知つたのだ。 のことを知つたのだ。 のことを知つたのだ。 のに違ひない。その時に音樂 界に於ても或る種度の革新が行はれるであり、更にとも構造のみの革新が行はれるであらうが、それが 単に上部構造のみの革新が行はれるであり、更にそれが國民全體の であり、更にそれが國民全體の であり、更にそれが國民音樂 を生み出すべきではなく、承識し をはかるべきである。そして

タイピス

吉光堂療院

河間し下痢胃腸病を強助 出来 大 ス 図 光 田姿襲社

(3)三五五〇

お

今年度の

樂界展望

かゝることは全く他かゝることは全く他

復行さ

おひやかしになっ

な遂げられなかつたと

110

中河與一「天の

夕顏」「『日本評論』

月增刊

2

力作

とそ

0

問

の中に是正させられ、また直江での人に對しておいた、 直江の言葉や態度に接してる る中に、明子もダンサーといいをでの見解を、知らずく 化までの見解を、知らずく 化までの人に對しておこことがいた、また直 近その人に對しては、まだ直 近その人に對しては、まだ直 だまでの見解を、知らずく にも一言も言葉を交はさな がのに、しみんくとした好感 があたにじめてある自分であ を持ちはじめてある自分であ を持ちはじめてある自分であ であることを知つた。

の前日に女が死に近い病床で書いた最後の手紙が国けられるのである。

「百枚ほどの大作であらう。それだけの独辞と、その時代の物語にもあるやうなが、上げた多年の腕である。古い時代の物語にもあるやうなが、それだけの独在を語つて作者の観をれてしても作者がなどらんるやうた、とれは天の屋を花と見るやうな、更に言へば、それをがくはい女のを花と見るやうな、更に言へば、それをがくはい女のを花と見るやうな、更に言へば、それをがくはい女のを花と見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみを花と見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみを花と見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみを花と見るやうな、それだけのゆともいふべきものをではないか。作者が或ひはいまとつの頂點に立つてるるのではないか。作者が或ひはいまとのではないかとさへ思はれるほどの張り切り方を感じ、同時にその次への飛躍といふことについては、ライトもほどの成るさを強感じたので

のである。

大作であらう。それだけの経緯と、その間にしても作者がなでらへる中らな、と見るやうな、それだけのいはば血の流ともいふべきものをできせたところ、この作者の観在を語つて嬉しい。と見るやうな、それだけのいはば血の流ともいふべきものをされ音賞されるやうなである。本れだけの呼とりのある人々にのみと見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみと見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみと見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみと見るやうな、それだけのゆとりのある人々にのみられら賞者をしか持ち得ないだらうといふところに「独加讃者をしか持ち得ないだらうといふところに「独加讃者をしか持ち得ないだらうといふところに「独加讃者をしか持ち得ないだらうといふところに「独加讃者をしか持ち得ないだらうといふさきもの遺跡に立つてるるのではないか。作者が或ひはいまたのではないからを強騰したのではないかとさへ思はれるほどの遺跡に立つてるるのではないからなぞが感じ、同時にあるのではないからである人々にのみのではないかとさへ思はれるほどの人が表しているというなどの大作品である。

RIIOITI

だ人物

三三年式

台

出かけませらね、言葉なんの、これから御一緒に方々の、これから御一緒に方々の、これから御一緒に方々のなった。

つばりと答へた。直江は、近かやくな言葉に、直江は、

「貴女の意見は正しい、だ か、メンサーの全部が貴女の やうにしつかりした信念を持 つてるれば、事は容易だが、 その監費女は幹事として、そ んた噂を取消すだけの活動を 分會にさせ得る自信がありま

たけに、私に遂せたいと仰しや でながら でなるかけた昆布茶の茶 でながら 「うん、實はね、前以てお前に話して置いてから遂つて もらふつもりで、野本さんと は五時 牛の 約束 だつ たんだ

然では明子カリカラママー、 たのでね、明子はまだ来たば であうと思つて、野本さんと お友達になればきつといゝだ あうと考へたのでね」 大方は明子へ言つてゐる言 薬だつたが、なぜか吃り勝ち で思ひなしか父の眼元が少年 のやうにボーッと赤らんでゐ るのを明子は見た。さうして 関子は明子で先刻家を出る前 の自分の種想が飛んでもない 見當遠ひだつたことに思ひ及 さう言ひかけた父の言葉を 行あの、私除り早く楽過ぎ 「あの、私除り早く楽過ぎ ていけなかつたのぢや御座い でいず決して、たま実 のかた憂ひが浮んだ。 のかた憂ひが浮んだ。 ると思っ 呼び、ホールの近所の方が直 江のために都合がいゝだらう と言つて、ダイヤ街のひとい 本家の前へ車をとめた。 道い鍋料理を関めで、三人 は非常になごやかなものを互 したビールが選ばれ、女中が じたビールが選ばれ、女中が たけた明子の観線が自分の手にまぢまぢと注がれてゐるのにまぢまぢと注がれてゐるのにまぢまぢと注がれてゐるのを感じると、明るい花のやう だ。そして(おゆと直江は無理のなれを受取り、馴れたみくと父の7

に笑ひながら 「別れた人がお酒吞みだつ たので、こんな修築もさせら

かと握つ

泰田准尉の沈澄県政の行動 職軍空軍の華として羅はれた のである。

御用は

百貨店

七 福 屋 八船町一八一六 電(3)五五四九



大和運輸公司 海 福 語 底 無治無効 施 施 素 病 堂書版 0元五0萬八四通和太

込近を間はず敏速に御何 灸皴 大和語の二九〇八堂 んま

帳簿事門 三盗町三八九元

二十の一町船入 春七六二六3 億



四一目丁三町土富

春四七三六(三)點體



五〇九









自金·金·銀高價買入 橫濱屋質店







すまし貨で用信ずせ更變儀名



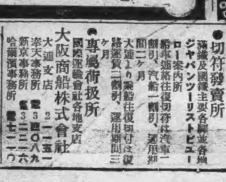


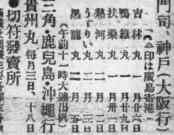
0寧 0丁 t刀 葉見 銀 番言品兒三語原





















米 (四) ことさらに美人といふのではないのに、なぜこの人はこれなに印象的なのだらう、と 期子は直江の長い睫毛と、優 しい口元に何時も漂つてゐる 軟かた微笑とを、親しみ深いまたざしで見つめるのだつた「野本さんは、何時までに まなざしで見つ 「野本さんは、 「大時半虫ま」 「六時半虫ま」 「では少し早」

江け、父の

五秒、十秒、二十秒、開登 院長は敵部手五百米の畑地に 不時驚してしまつた、不時驚してしまつた、不時驚してしまった、不時驚しては破塵を捲き上げて能 登機へ向つて襲來したのである、「敵に睽長を渡してなるものか」と楽田准尉はグット下舵をとつて急降下し敵の頭上すれく、に得意の機關銃の 野地掃射を開始したのである 五人、十人と敵は泰田准尉の頭上すれくに得意の機關銃の頭上すれくに得意の機關銃の頭が出す弾に倒れて行く、約二十分の野地掃射を開始したのである。

代書

けないのし

一つ関かせたな、今日にな、今日

朗子

12

三人は何か

たの

与いが、どこかられますわら 直江は最後に自分のにも半分い手つきでコップを整出したい手つきでコップを整出した

で夕飯をやらう」 文に織いて表に出ると、日 は疾うに沈んでゐて、残映が 値かに西の空を染め、いくら か風が出始めてゐた。 父は手をあげてタクシーを で夕飯をやらう」

「今僧陸して職長を救出さ 前僧陸を敢行して職長を救 前僧陸を敢行して職長を救出さ

電話買ひた

八三六番沿商

女給募集

候モダンス 銀座

所易 略

トラックに依る

代書になり

時 着の詳報を聞いたのである いれて黄河寄りの飛行場を訪れ 森田准尉の豪贈無比の敵前不 森田准尉の豪贈無比の敵前不

おすることも容易です。です おすることも容易です。です から仕事の上では必ず能率を

ます、その鵬私達は身一つで水ない場合だつて多いと思ひが色んな家事に妨げられて用い色んな家事に妨げられて用い

「だって他の分會」

それはもう百パーセントのR「なるほど、さうして幹事」とげる自信がありますわ。」

云つて明子の節のコッ

る一陣に向つて急降下を始めた。 である、アッと思つた瞬間能 の である、アッと思つた瞬間能 の である、アッと思つた瞬間能 の である、アッと思つた瞬間能

総職は十九日拂覧折柄の漫場を聞いて五原方面の残敵を潰って人包頭や飛び出し、五原香道に沿ひ西進し五原城に迫つたのである、勇敢を以て鳴る能登職長と森田准尉は地上すれくの低空飛行をもつとすれくの低空飛行をもつ かりした機関統領が で敵に猛射を浴せた が不幸によ敵は の低空 森田准尉は一目散に燗地の中 新壁や雨霰と浴びつゝ敵前に 新壁や雨霰と浴びつゝ敵前に 出さら」

南限を射 でらにつく走つた。 つぶしてゐた。 大つて操縦桿をしつ 大つて操縦桿をしつ 大つて操縦桿をしつ

長を收容して無事十時卅分包十米の畑地を積切り愛機に吹を放ち拳銃をも長の愛機に吹を放ち拳銃をも長の愛機に吹を放ち拳銃をも

物地みやげ電話即時間鑑 中央通二十 菓子 五丁日六

泰公司 ニーは四七



勉强引受 二

























貸出勉强







神經質な子に

誰がする?

お母様にも責任

消化不良の季節

吐乳と下痢に御注意のこと

上自るか川は一般



家庭 でのお手間として記念る字事製品が開ませて下さい。

確保して下 掃さい

快極まる眼疾が 想像以上です の人生を憂欝

> 生先榮 村中 土彻學醫 生先作隆藤仁 士博學醫

藥科眼的心良の代時新

玄居てし備具を用作毒消、斂牧、炎消、菌殺な適快に特もて中薬科眼はルイマス 且し療治にか迅を等勞疲精眼、炎膜角、ムーホラト、炎瞼眼、炎膜結ばれさ。す *すまし進増を率能、めしらな快明を力視き除を血充、勞疲の眼又。すまし防豫

り命に部品薬店貨百店薬・鏡五十四・銭五十二(債薬)

00%は器容

も栓口も瓶・型線流なケツシ 置装眼點式動自。全完的學科



店商置玉 社會式標

目丁一町本區橋本日市京東 看二七京東普級 町瓦區東市阪大

大きりの (八島) 三分九秒八2小 ・中間(空町)5万十嵐。 ・中間(空町)5万十嵐。 ・中間(空町)5万十嵐。

「順天) 三組、1 阿本(三笠)三分 十一秒五3 池田(順天) 5 今村(白鬼) 6 白川(曜 大) 7 島田(四版場) 5 結本(八島) 4 宮田(室町) 5 結村(櫻木) 6 佐野(三 金鞍女千米一組、1 池田(八島)三分 1 1 徳田(四版場) 3 一 1 徳田(一 1 池田(八 1 池田) 6 他野(三 1 池田) 7 他野(1 田) 7 田

不田(西腹場)7武山(櫻 大) 一之組、1 佐々木(八島)二 一分二十一秒四2 版田(西腹場)3 版本(白泉)4 河野 (室町)5 作吉(櫻本)6 二五秒四2 池内(櫻本)6 一五秒四2 池内(櫻木)3 一時解 西廣場)6 渡途(皇 5 伊藤 西廣場)6 渡途(皇 町)7 窪田(三第) 「室町)五十八秒一2 五味 「室町)五十八秒一2 五味

瀬川西蔵場校長となった、閉宮式に終 手職列、審判長近三統 り成績御表あつて會長 に装興され、平井新宮 に装興され、平井新宮 に表興され、平井新宮 日本學校和合主事の前

(大四十三郎) (大四十三) (大四十三)

勝

(日曜日)

帝國政府の對支外交根本方策 確立の為現地管料を挽行障期 の論にある谷公使は二十二日 午後三時軍司令官を訪問、同席の東係 会談長澤国参事官、星野總済 最近並に中支方面に於ける第 態促並に中支方面に於ける第 態促並に中支方面に於ける第 高に對する對策私見を披瀝曹 一個の動向特に英ツ兩國の動 一個の動向特に英ツ兩國の動

都下モンテカルロ、扇汚宜館 シスホール女子從薬員を以て 組織された國防鯖人質犬和分 信は鋭後團體の一翼として可 局の誰展と共に自加自戒をモ ツトーとして國防鯖人質犬和分 として活躍してゐるが、廿二

指揮樂長

山田殿蔵

新沖田(室町)4加藤(白 六十九秒四2瀬々(室町) 六十九秒四2瀬々(室町)

島/美城松 前羽 州仙

島青年は廿二日午後一時市内 数は日に(一熾烈となりつい あるが、雑龍山君等五名の半 なるが、雑龍山君等五名の半 なるが、神龍山君等五名の半 なるが、神龍山君等五名の半

期日通朝鮮人協和自分會を訪明、志願兵藩等を前では直ちに陽東 をので、分官では直ちに陽東 をので、分官では直ちに陽東

(市場) 日相 第一日 相撲

を高くして選手を場へ来てって選手に與へ「皆よくペスト を高くして選手を場して早速ブタ マンジウ十到がとこふんばつ

今直ぐ治せ

滯京中

軍司令官に私見披瀝

央

國婦大和分會員 傷病兵慰問

志願兵申出る

9と、 的解利を日本の

参って居ります

小學校對抗

熱誠い

熾烈

旅行者課税案には

絕對反對態度

京城帝大高橋教授が完成の

段の模範試合あり盛會で 東京神社の神官に依り低と時より道場開きを行いませい のり はく場が

で参日同司 験列午分令

相 撲 春

場所

星取

3

に野抗しやうとして、八萬 の時代から約百五十年程 前にあたる顯宗大王の頃興 前にあたる顯宗大王の頃興 前にすがつて契丹辰族が終 がにすがつて契丹民族が終 がにすがので契丹民族が終

の大郷版を印刻し開城の作 ちたかなものがあつにので ちたかなものがあつにので ちたかなものがあつにので であく、此時の経版は尤も であく、此時の経版は尤も である、高宗 大王の頃は元氏族が朝鮮を 大王の頃は元氏族が朝鮮を

王も選に元族に抗し切れず王も選に元族に抗し切れずをある。本語に強くことが不安にの場に保存された場所は江西をが、李朝に入ってからの場にの侵略が激しくなりらかに、印刻された場所は江西島に強をが、李朝に入ってからの場にの侵略が激しくなり。

にりかれ江でを西す

世界中部である。中国のである。
一般を記述ののである。
一般を記述の
一述の
一般を記述の
一般を記述の
一般を記述の
一般を記述の
一般を記述の
一般を記述の
一述の
一述の
一般を記述の
一述の
一般を記述の
一述の
一述の
一般を記述の
一

の至寳大經典

でのふ旅館組合總會

厨芳育館タンゴバンドと共に不幸傷いた白衣の勇士に温 は間をおくつた、此の美しい 位間をおくつた、此の美しい 女性群の見郷に大喜びの勇士に温 でて展開される各ホール選りぬ で、タップに盛んに拍手を没 がな性報の見郷に大喜びの勇士に温 をの整連者の獨唱に、バレー で、タップに盛んに拍手を没 がなて午後三時野日キャピタル

新京旅館組合第三十回定期總 ・ 一 等開花に於て帰催、五味組合 ・ 長嶽長席につき前年度事務報 ・ 長嶽長席につき前年度事務報 ・ 本 ・ 年度收支決算報告、本 ・ 本 ・ の後全瀬旅館業者のトップを

まで反對の態度を以て留むことに滿場一致決議今後の動向に對し役員の善處を希望しその態度を明らかにした、最後に列席の首都警察護本田風紀に列席の首都警察護本田風紀

國防献金音樂會

(一) 教育制度に對する對策として (一) 教育物持込立替に對する手數科。件(二) 客室 社意運項に關する件 注意運項に關する件 として果然センセーションを 差き起した特別市公署が百萬 として提出されたが、本案は蒙 者をして死地に指し入れるに 等しきものである、若し資施 を動きとするならば他く

高大屋旅館、新京ホテル、 高大屋旅館、新京ホテル、 高大和新館) 合計幹事光永市 (古山屋旅館、西郷ホテル、 の 高大和新館) 合計幹事光永市 (古山屋旅館、西郷ホテル、 高大和新館) 合計幹事光水市 (京士屋 で、梅屋旅館、西郷ホテル、 で、梅屋旅館、新京ホテル、 で、梅屋旅館、新京ホテル、

廿九日夜。公會堂(鐘頭

後へつべ

輸玉大玉名海 奈青太金番♥ 創富田 邱ノ希光 復張刀 神ノケ土 山錦 当極岩山山山 若湊山 単 留線

をおくり全員の感激の中に病 時節遊についた 室を巡り各人母に見舞の言葉 次にと固い約束 班長の挨拶で余興を終り、各 院一杯に華やか

防衛常三清一千純北佐 長 陽熊美 遊威 賀 山機山山川渡昇山海花

■初心済献迎懇切指導上達迅速謄本速成教授

長尺

琴古流井上起童

電話(3)二七八四十

文化譜 杵家彌壽清

四四科朴人

希望者は御來談あり度し一、仲居二、三名至急入用

本

酒橋の通

安兵

衛

與運班

邱 置州寄 引波瀬 凝 淡水ヶ蛇 華和 光ッ 望 寄 州 葉 岩山潟園山山岩湊花巤川 山 鈴海川嶺園川山川花登山島甲山川岩昇山園岩山

海、从川山岩岛里山里山浪溪岛山潟潮淡石山山川部

急操淋菌を

撲滅全治され

新京東一條通九

入時 五時三六分 五時三六分

無なってくれた、しかし次に 別野抗には各校共打倒八島を 別野抗には各校共打倒八島を の中に感極まつて感激の凝を がら深手一回「おい断然森山 たの場にも又必勝を期さう と意氣高く「フレーフレー」 と意氣高く「フレーフレー」 息者を豫防することであ り十人の破滅を救ふこと 全治することは十人の新 人の淋病患者が淋疾を 撲

諸君は正しき旅法に依り である現在りん病に悩む 慢性急性悩める人は迷はず今直ぐ來談 何に頭趨な悪性淋病消渇も速に治療の目的を達し得べし の力和簡単生理學及化學を應用せし强力なる薬剤に依頼知 他で解決されるものは只一つ優秀にして勢效的確なる廣義 み一段にても微微なされた方の必ず感じられる種々の懇悩 窓庭の歌哀!幸福の破壊?背春の歌き!等々と最も恐る。 き病症中の無臓温烈なる淋菌の絶滅を動何にすべきかの

人の全快は十人の豫防ごなる を!

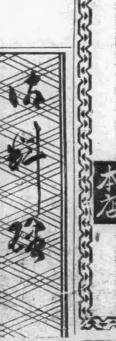


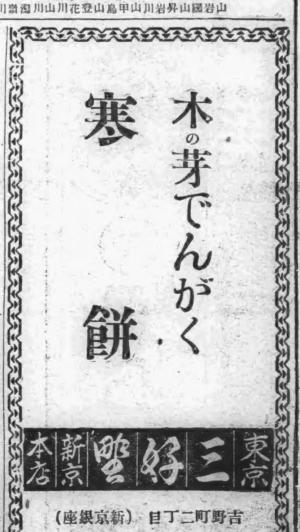




運命鑑定







き楽儀を廃したファーに接続を発きに関して、元来比較な一

女抵抗力を强めるのが第

殊な内分泌作用が行はれるとか、変化が魅ってくるので、例へは特









医学士

店东





医学士

松

肺尖カタルで呼吸困難

多少に不拘御申込次第係員参上御便宜に

扱ひ致します。

-/-部

0

五季

HES C D

京

大一

感冒や冷え込みは

冬の結



病室、本館、別館入院隨意 高

二井火災保險 電三三八四三四











白里

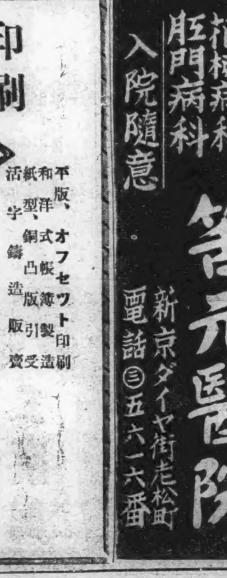




新京東三条通四九番地 電話③至八五番 板替新京

即 簿 刷 活紙和平 字型洋版 社查 銅式オフ の い 造版 海ッ 雙發洋 版引製中 賣受造刷 新京日本橋通七十四番地 行 エ 場 ニハニニハニニ

印刷 部







遼 通 安 西 街平四 閩主公 电家范 移音 鐵陽朝 領域山 順振 東安 湖溪木 镱 沃 們圖 非龍 化段 山克 爾拉海 爾哈木齊 預爾音 富子籍 店職者 口河沙 迎大 斯木佳 江丹牡

方店出張所 在 地

場 发育?

のかのコバタ は黄接木に変みぬけれている。 みの歯磨



D.T=店藥品就化草煙